

鈴鹿市稲生民俗資料館 事業計画書等の要旨【公開用】

申請者名		稲生の歴史と文化を守る会						
基本的な方針		農具や稲の品種改良に関わる資料を展示しているので、それらが広く市民に周知されて、民俗文化の保存に対する理解及び関心を得るために、館の管理運営に努める。						
サービスの向上		隣接する伊奈富神社との連携を図り、同神社境内に群生する三重県名勝「稲生山のツツジ」のつつじ祭りに、参加する人々への来館案内を積極的に展開して展示内容の解説や文化財を紹介して、来館者の満足度を高める。また同館の概要を示すパンフレットを配布し、リピーター及び新たな来館者となり得る方々への紹介を進める。						
施設の管理運営経費		創意と工夫をもって、来館へのサービス水準の向上を図りながら、可能な限り、経費の削減に努め、不必要な出費を抑える。						
施設の安定した管理運営		組織表を周知徹底し、利用者の安全を図ると共に緊急時の職員の対応が迅速なものとなるよう努める。						
収支計画書 (千円)	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	期間合計	
	収入合計	1,546	1,546	1,546	1,546	1,546	7,730	
	内訳	指定管理料	1,546	1,546	1,546	1,546	1,546	7,730
		事業収入	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
	支出合計	1,546	1,546	1,546	1,546	1,546	7,730	

※ A 4 版 2 枚以内としてください。